



2013年9月 ときお博幸の一般質問

1 観光行政について

Q 倉敷市のバス専用駐車場の営業時間は午前8時30分から午後5時30分までである。最近、ホテルへのチェックインぎりぎりまで観光する団体やツアー客が増えていると伺う。美観地区周辺の宿泊施設や市内のバス会社から、バス専用の駐車場の営業時間の時間延長の要望を伺った。倉敷市バス専用駐車場の営業時間を来春の観光シーズンに、試験的に午前6時から20時までまで延長してはどうか。その取り組みも踏まえ、効果があれば、その後も継続して時間延長を行ってはどうか。

A 工藤文化産業局長
議員御提案の時間延長については、まず、バス会社や旅行会社の利用の希望を把握することが第一と考えている。バス会社、旅行会社へ希望の有無などについて、調査をまずさせていただきます。



Q (要望)
市内のバス会社以外に、岡山県外のバス会社や旅行代理店の意向もはっきりアンケート調査で聞いていただきたい。アンケート調査の結果、もし時間延長が実現される場合には、実施前に倉敷観光コンベンションビューローとも連携をしてPRを十分行って、倉敷市での宿泊客数の増加につなげていただきたい。

2 情報通信技術（ICT）施策の取り組みについて

図書館での公衆無線LANサービスについて

Q 図書館での公衆無線LANサービスの利用について、平成24年2月定例会の一般質問で取り上げられ、倉敷市では、市内の各図書館で公衆無線LANサービスが提供されているという答弁であった。伊東市長の答弁で、利用状況が、例えば中央図書館においても週に1回か2回ぐらい程度で、PRが不足しているので、これからはしっかりPRをしていきたいという答弁であった。この議会質問後、1年半ほど経過しているが、市内の各図書館での公衆無線LANサービスの利用周知のPRをどのように行って、利用状況はどうなっているのか。

A 國枝教育次長
図書館での公衆無線LANサービスの利用についてですが、平成24年2月議会において、図書館での利用状況について質問をいただきましたが、中央図書館では週に1～2回の利用状況であるとお答えをさせていただきました。その後、市内各図書館の窓口での案内やポスターを掲示してPRしましたが、現在の中央図書館での利用状況は月に1～2回の利用と、減少しています。これはスマートフォンや民間通信サービスの普及による現代社会のインターネット環境の変化が大きく影響しているものと考えられます。しかしながら、今後も無線LANの利用を希望される市民の皆様のために、より目につきやすいPR方法を工夫したいと考えています。



Q (要望)
以前の議会質問の答弁では、週に1回か2回の利用が、現在は月に1回か2回に減っている。例えば、中央図書館では無線LANの表示がわかりづらいし、倉敷市や図書館のホームページに公衆無線LANに関する記載やリンクがない。改善する取り組みをしてもらいたい。

図書館以外の公共施設での公衆無線LANサービスの利用環境の整備について

Q 図書館以外の公共施設での公衆無線LANサービスの利用環境の整備について、市民の方から、倉敷市民会館や倉敷労働会館で、ノートパソコンを利用しながら研修などで受講するときに、無線LANサービスを利用してインターネットを接続したいという要望を伺う。図書館以外の公共施設での公衆無線LANサービスの利用環境の整備について、どのように考えているのか。

A 岩瀬企画財政局長
図書館以外の公共施設での公衆無線LANサービスの利用環境整備についてですが、倉敷市では、平成17年度から市の光ファイバーネットワークであるかわせみネットを利用し、市内5カ所の図書館と倉敷駅西ビル2階の観光案内所及び本庁舎1階の待合で、公衆無線LANサービスを提供している。現在、全体で1日の利用数が数件という状況となっている。
サービスを開始した平成17年度当時は、民間事業者による公衆無線LANサービスの提供はほとんどなかったが、現在ではスマートフォン等の情報端末からインターネットサービスを利用するために、駅や店舗等において民間事業者による公衆無線LANサービスの提供が増えており、既に市内に約1,500カ所を超える民間のWi-Fiスポットができていますので、先ほどの市のサービスの利用数も、これらの民間サービスの拡大とともに減少していると考えています。
今後の公衆無線LANの整備については、こうした民間での提供状況も踏まえ、検討したい。

Q これまでかわせみネットで、全国に先駆けて行政による整備をしてきたが、今後は公共施設においても、民間事業者に無線LANサービスの提供を任せる方向なのか。

A 岩瀬企画財政局長
両面で、必要があれば検討していきたい。

Q 災害時の避難所となる施設での公衆無線LANの整備について、災害対策で無線LAN普及に国が補助を行う経費を、総務省が来年度予算の概算要求に盛り込むと伺った。自治体が災害時の避難所となる施設などに設備を導入する場合、費用の2分の1を補助する方針と伺っている。避難所となる施設の公衆無線LANサービスの利用環境の整備について、どのように考えているのか。

A 橋本総務局長
本市においては、避難所として市立の小・中学校や公民館などを選定しているほか、県立の高等学校や市内の私立大学などとも協定を結び、これらの施設を避難所として利用することにしている。
議員御提案の災害時の避難所となる施設での公衆無線LANサービスの利用環境整備については、電子メールやツイッターを利用することにより災害時の情報の発信、収集に役立つなど、効果があると考えているが、その反面で、災害時以外のときにどのように活用できるのか、あるいはセキュリティ確保のための利用者特定をどのようにするのかといった課題のほか、携帯電話会社などの民間企業が既に同様のサービスを提供しているなど、考慮すべき課題もあるものと考えている。
ご紹介いただきました国の来年度予算要求についてですが、地域ICT強靱化事業として盛り込まれておると認識しているが、今後こうした補助事業の枠組みなども確認をしながら、こうした必要性も含め研究してまいりたい。



Q 避難所の中で、学校はインターネットの環境の整備が進んでいるという話も伺う。同じく避難所に指定されている公民館は、学校に比べれば環境整備がおくれていると伺うが、国の補助でいろいろ縛りがあるということも伺ったが、平常時、例えば職員の利用や市民の方の公民館の講座での利用、市民の皆さんへの開放端末の利用など、公民館を利用される方へ公衆無線LANの提供などを行って、国の補助を行う方向で検討してはどうか。

A 橋本総務局長
御提案いただきました内容につきましても、他県、あるいはほかの自治体での動きも少しずつ出てきていると聞いているので、本市での環境の状況も含めて、どうしたことが一番いいのかということをごこうした動向も踏まえながら研究をさせていただきたい。

Q 先ほど例示した総務省の来年度予算の概算要求に盛り込まれる無線LAN普及への国の補助は、観光振興のための無線LAN整備も支援するとのこと。観光庁の2011年度の調査によると、外国人旅行者の約24%が日本を旅行中に最も困ったこととして、無料の無線LANが整っていないことを上げている。本市において、外国人観光客に対する公衆無線LANサービスの利用環境の整備については、どのように考えているのか。

A 工藤文化産業局長
外国人観光客向けの公衆無線LANサービスの利用環境の整備についてですが、現在、くらしきシティプラザ西ビル2階の倉敷駅前観光案内所及び美観地区内の倉敷館観光案内所で無線LANサービスの一つでありますWi-Fiでのインターネット接続が可能であり、スマートフォン等による情報収集が無料でできる環境となっている。さらに、ホテル、コンビニ、あるいは飲食店等など、多くの民間施設が顧客のサービスの一環としてWi-Fi環境を整えている。今後は、こうした民間での提供状況も踏まえ、公共施設での外国人観光客向け公衆無線LANサービスについて検討したい。



Q 美観地区では、中橋近くの倉敷館に公衆無線LANの整備がされているということである。倉敷物語館への観光客が寄られる機会も多いと思う。飲料メーカーが、無料の公衆無線LANサービスを提供する機能がついた自動販売機を販売されているが、この自動販売機を例えば倉敷物語館に導入してはどうか。

A 工藤文化産業局長
Wi-Fiによるインターネット接続のスポットについての考え方ですが、民間の施設の多くが顧客のサービスの一環として、これを行っているという状況もある。倉敷物語館等への設置につきましては、今後検討させていただきたい。

WindowsXPのサポート終了への対応について

Q 本市所有の情報端末の安全対策について、市民の方から、図書館や支所などで市民開放されているパソコンの基本ソフトが、ウィンドウズXPが使われているということで、ウィンドウズXPのサポートが来年4月9日をもって終了されます。サポートが終わると、そのウィンドウズXPが入っているパソコンを使い続けると、ウイルスに感染をしたり、リスクがあります。市民開放の端末や職員が業務で利用しているパソコンへの本市としての対応はどのようにするのか。

A 岩瀬企画財政局長
情報端末の安全対策についてですが、市が保有する情報端末については、ウイルス感染の防止など、安全に業務が実施できるようにソフトウェアも含めた端末機器等の計画的な更新を実施している。



Q 端末、パソコンの更新なども考えているのか。

A 岩瀬企画財政局長
もちろんパソコンも入ります。